災福研第２号
令和７年４月23日

2025年度日本災害福祉研究会　第一回研究大会　開催要項

1，開催趣旨

近年、自然災害が相次ぐなか、これらに対する地域社会による対応が十分になされていない状況がある。また、阪神・淡路大震災以降、わが国の災害法令の柱となっている災害救助法（昭和22年法律第118号）および災害対策基本法（昭和36年法律第223号）の限界が確認され、頻回に法改正がなされている。

一方、2024年において発生した自然災害に対する福祉対応においては、人々の生活再建に向けた多様な生活上のニーズ充足に向けた様々な取組みが求められていた。しかしそうしたニーズに十分になされたのかという点に関しては、必ずしも過去の教訓を活かせていないという指摘も散見される。こうした指摘がなされる要因の一つとして、「災害対応」が平時における通常業務に位置付けられていないため、ノゥハウが蓄積されないという点が課題としてあげられよう。

そこで今回は、こうした課題に対応するための取組みとして、災害福祉の常設機関である「災害福祉支援センター」設置に向けた検討が秋田県においてなされたことを鑑み、その検討状況を通じて、今後の災害福祉のあり方を探ることを目的に開催するものである。

2，日　時　　2025年７月27日（日）／9時30分～16時
3，会　場　　秋田県社会福祉会館　７階　第一・第二研修室
4，主　催　　日本災害福祉研究会
　共　催　　秋田県社会福祉協議会
　後　援　　秋田県（予定）、秋田市社会福祉協議会（予定）

5，次　第

【第一部　午前の部／9時30分～12時】

司会　　北川　進　（日本社会事業大学）
（1）　開会　　日本災害福祉研究会　共同代表　都築光一
　　祝辞　　秋田県
（2）　基調報告　秋田県社会福祉協議会　施設振興人材研修部　部長　佐藤　徹　氏
（3）　シンポジウム
　　コーディネイター大島　隆代　氏（文教大学）
　　シンポジスト　　石井　誠　氏（秋田市社会福祉協議会）
　　及川　真一　氏
　　（日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部）
　　石塚　裕子　氏（東北福祉大学）

コメンテーター　高橋　良太　氏（全国社会福祉協議会）
コメンテーター　調整中

(4)　質疑応答

(5)　閉会　　日本災害福祉研究会　共同代表　鍵屋　一　（跡見学園女子大学）

【第二部　午後の部／13 時～16 時】

・自由研究発表　　8 階　第四研修室
・実践報告　　7 階　第一・第二研修室

～申込み手続き等～

１．大会参加手続き

（１）参加資格

午前の部シンポジウムは、どなたでも参加可能です（午前のみオンライン設定あり）。午後の部自由研究発表および実践報告の発表者は、原則日本災害福祉研究会会員に限ります（2025年5月末日時点）。

（２）参加申込み

参加申込みは、【大会参加】【自由研究発表】【実践報告】の3種類がありますので、ご注意ください（※自由研究発表または実践報告申込みの方は、併せて大会参加申込みをお願いいたします。なお、自由研究発表と実践報告を同時に申し込むことはできませんのでご注意ください）。

（３）大会参加費

会員 2,000円、非会員 2,500円、学生・大学院生（無料）

＊当日会場に参加予定者は、大会会場の受付にてお支払いください。釣銭がないようご準備ください。午前の部のオンライン参加者は、以下の口座に振り込んでください。納入が確認された方に、後日オンライン参加のID等をお知らせいたします。

【振込口座】

＜ゆうちょ銀行から振込みする方＞

振込先：ゆうちょ銀行
総合口座：記号：１１３５０　番号：０８１７４７６１

＜ゆうちょ以外の銀行から振込みする方＞

支店名：一三八（漢数字）
総合口座：普通
口座番号：0817476　　…7桁
※詳しくはゆうちょホームページ（↓）でご確認ください。
https://www.jp-bank.japanpost.jp/kojin/sokin/furikomi/kj_sk_fm_furikomi.html

＜名前の記入方法＞　振込人のお名前は、以下のとおりでお願いします。

［会　員］サンカヒ■カイインメイ
［非会員］サンカヒ■フルネーム
※■はスペースです。

【納入締切】2025年6月21日まで

（４）参加申込みについて
①、②のいずれかの方法でお申込みください（※発表者も参加申込をしてください）。
なお、当日参加も受け付けます。

①申込みフォームでの申込み
以下のQRコードを読み取り、必要事項をご入力ください。
＊日本災害福祉研究会のホームページに、大会案内がありますのでご確認ください。
【参加申込みフォームURL】
(**大会参加申し込み**) https://forms.gle/tJq2G4ZD1jq95CQp8

② E-mail による申込み
お名前、ご所属、電話番号、会員区分（会員、非会員、学生）、その他必要な情報を明記のうえ、以下のメールアドレスにご連絡ください（注：メールアドレスは、事務局の連絡目的専用ですので部外秘扱いにします）。
【申込み・問い合わせ先】
seminar0301@gmail.com （担当：塚田）

（５）大会参加申込み締切
2025年6月21日（金）17：00まで（厳禁）

２．自由研究発表および実践報告の手続き
（1） 申込み資格について
自由研究発表および実践報告への申込み資格は、2025年5月末日現在において、下記の2つの要件を満たす必要があります。
①日本災害福祉研究会の正会員（特別会員の団体会員、賛助会員含む）であること
②複数人で発表の場合は、筆頭報告者が会員であること

（2）報告演題について
自由研究発表および実践報告は、1会員1演題に限ります。演題の申込みは必ず筆頭発表者（ファースト・オーサー）が行ってください。また自由研究発表と実践報告の両方への申込みはできません。いずれか一方となります。
※演題の申込み者と筆頭発表者が異なる場合は受理できません。
※発表とは別に、他の研究発表等で共同研究者として名前を連ねることは可能です。
※口頭発表について、同一テーマによる発表は「その（１）」「その（２）」までとします。
※口頭発表について、共同研究成果に関する同一テーマの報告の場合には、「その（１）」「その（２）」までとします。
※共同報告者が日本災害福祉研究会の非会員の場合、氏名の後に（非会員）と明記ください（例：久保田太郎・秋田　雄（非会員））。
（3）自由研究発表および実践報告の申込み
以下のQRコードを読み取り、必要事項をご入力ください。
※日本災害福祉研究会のホームページにも同様の「第1回研究大会参加フォーム」があります。

【参加申込みフォームURL】
（自由研究発表および実践報告申込み）https://forms.gle/u3q489Sufyh57tSe6

※研究大会E-mailアドレス（seminar0301@gmail.com）でも受付可能ですが、受付確認の返信が遅れる場合などがあります。あらかじめご了承ください。
＜方法＞
①メールの件名は、「自由研究発表・実践報告申込み（例：久保田太郎）」としてください。
②メール本文には、ア）発表テーマ（主題・副題）、イ）氏名（フルネーム）、ウ）所属、エ）連絡先（メールアドレスおよび電話番号）を、必ず記入してください。

（４）自由研究発表・実践報告申込み締切
2025 年6月10日（火）12：00

３．自由研究発表について
（1）演題採択
演題の採択については、内容を確認して決定し、お知らせします。内容の確認について原稿は、後述の「発表申込みチェックリスト」の項目を満たしていることが必須となります。なお、内容のチェックの結果、原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けることができません。採否については、自由研究発表申込みに登録をしたE-mailに通知します。
（2）分科会
自由研究発表（口頭）を申込まれる際には、希望する分科会を以下のリストの中からお選びください（※掲載原稿の内容をもとに実行委員会にて分科会への割振りを行う場合もあります）。
（例）第1分科会 応急対応分科会
第2分科会 地域防災分科会
第3分科会 生活再建分科会
第4分科会 防災まちづくり分科会
第5分科会 福祉支援分科会
その他（上記に該当しない場合または判断が付かない場合）
（3）発表方法
本大会（自由研究発表、実践報告）は対面にて開催いたします。直接会場へお越しください。報告レジュメや資料等は各自で印刷してご持参ください（目安30部）。また発表（映写）用のパワーポイントデータを、倫理確認用資料として受付に一部提出してください。
（4）発表時間
報告 １５分、質疑応答 5分です。（発表が5演題とすると、1分科会の合計は 100分（1時間40分）となります。）
（5）要旨集掲載原稿の様式
「自由研究発表」を希望される方は、「第1回研究大会研究発表申込みフォーム」を用いて作成したうえで申込みください。
締め切り期日までに要旨のフォーマットに従った原稿データを同研究発表申込みフォー

ムに添付して提出してください（※Word形式およびPDFの双方を添付してください）。要旨フォーマットは、日本災害福祉研究会のホームページにアクセスして取得してください。原稿データは大会事務局のE-mailでも受付けますが、なるべく研究発表申込みフォームをご利用ください。
※提出の際には、ファイル名を「自由研究発表申込み_氏名」としてください。
用紙サイズ・枚数は、1発表につき、A4 版 2 ページの横書きです。厳守してください。2ページに満たないものは、受付けられません。
本冊子の「研究発表 原稿様式」のとおり作成してください。
余白について、上下左右で各２５mmあけてください。
原稿には、ページ番号、ヘッダー/フッターなどの挿入は、決して行わないでください。

（7）要旨集掲載原稿に記述する事項

本冊子の「研究発表原稿様式」のとおり、〔テーマ、発表者全員の氏名・所属・会員区分（筆頭発表者には○を付ける。非会員はかっこ（）書きする）、キーワード ３つ〕を「上部の枠内」に明記してください。
本文の項目は、〔研究目的、研究の視点および方法、倫理的配慮、研究結果、考察〕の5つにしてください。
事例等の記述にあたっては、プライバシーの保護、関係者の承諾等配慮する。なお、原則として人名、地名、職場名、学校名等の固有名詞は使用せず、A県、B市、Cさん、D施設などと表記し、実際のイニシャルは使用しないこととします。
調査を伴わない文献研究の場合でも、すべての要旨には、所属学会等（学会に所属していない方は、いずれか参考にした学会）の「研究倫理規程」を確認し、配慮の内容（例：日本社会福祉学会の「研究倫理規程」に基づき配慮したこと）を記載してください。記載が不十分な場合や記述がない場合、採択されないことがあります。
次ページの発表申込チェックリストを使用して、必要事項に漏れがない事を十分確認してください。

４．自由研究発表チェックリスト（実践報告同様）

下記の項目全て確認し、不備が内容チェックをしてください。要旨集掲載原稿の受付終了後には、投稿原稿に対する実行委員会からの修正依頼に基づく、形式等の軽微な修正は認められますが、提出後の研究内容にかかわる変更は認められません。
タイトルの変更、著者の追加・削除、所属の変更などについても実行委員会からの修正依頼に基づくものでない限り認めません。その場合は、「取り下げ」ないし、「不採択」となります。

チェック項目

①要旨集掲載原稿は、指定された書式（文字サイズ、字体、余白等）で作成されていること
②要旨集掲載原稿は、研究の目的、研究の視点および方法、倫理的配慮、結果、考察の5項目が全て記載されていること
③筆頭報告者は、日本災害福祉研究会の会員であり、非会員は（非会員）と明記されていること
④発表内容は、他の学術学会等での発表または既掲載論文との多重報告ではないこと
⑤研究発表に際して、対象となる者あるいは責任のある立場の者から研究協力および研究発表の同意を得ていること
⑥人を対象とする調査研究の場合、要旨掲載原稿の「倫理的配慮」の欄に、その実施にあたっての所属機関等での研究倫理審査を経た旨の記載がなされていること
⑦文献や資料を引用している場合には、出典が明記されていること
⑧差別的表現や社会的に不適切な用語が使用されていないこと

自由研究発表 様式見本（A4サイズ）

余白25mm

主題: 12pt ゴシック・中央揃

－副題: 10.5pt ゴシック・中央揃－

〇氏名 10.5pt明朝（所属　〇〇大学）

〇久保田太郎（□□大学）、秋田　雄（〇〇大学・非会員）

キーワード3つ：9pt 明朝・中央揃

1．災害の概要と報告目的（見出10.5pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝）

●●●●●●●●●●●●●●●●・・・・・・・

2．実践の必要性（見出10.5pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝）

●●●●●●●●●●●●●●●●・・・・・・・

3．倫理的配慮（見出10.5pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝）

●●●●●●●●●●●●●●●●・・・・・・・

余白25mm

次頁　余白25mm

4．研究結果（見出10.5pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝）

●●●●●●●●●●●●●●●●・・・・・・・

5．考察（見出10.5pt MSゴシック、本文10.5pt MS明朝）

●●●●●●●●●●●●●●●●・・・・・・・

謝辞（MSゴシック10.5pt：必要に応じて記載）

引用・参考文献一覧（MSゴシック10.5pt：必要に応じて記載）

余白25mm

５．実践報告について

（1）演題採択

演題の採択については、内容を確認して決定し、お知らせします。内容の原稿は、自由研究発表の「発表チェックリスト」の項目を満たしていることが必須となります。なお、内容のチェックの結果、原稿の修正等を求めることがあります。修正を求められた場合には、修正コメントに基づいて指定した期日までに再提出をしてください。再提出がされない場合には、発表を受け付けることができません。採否については、実践報告申込みに登録をしたE-mailに通知します。

（2）分科会

受付状況により判断します。

（3）発表方法

本大会（自由研究発表、実践報告）は対面にて開催いたします。直接会場へお越しください。報告レジュメや資料等は各自で印刷してご持参ください（目安30部）。

（4）発表時間

報告 １0分、質疑応答 5分です。（発表が5演題とすると、発表時間の合計は 75分となります。）

（5）要旨集掲載原稿の様式

「実践報告」を希望される方は、「第1回研究大会実践報告申込みフォーム」を用いて作成したうえでお申し込みください。

締切り期日までに要旨のフォーマットに従った原稿データを同実践報告申込みフォームに添付して提出してください（※Word形式およびPDFの双方を添付してください）。

要旨フォーマットは、日本災害福祉研究会のホームページのページにアクセスして取得してください。原稿データは大会事務局のE-mailでも受付けますが、なるべく研究発表申込みフォームをご利用ください。

※提出の際には、ファイル名を「実践報告申込み_氏名」としてください。

用紙サイズ・枚数は、1発表につき、A4 版 1 ページの横書きです。厳守してください。1ページを超えるものは、受付けられません。

本冊子の「実践報告 原稿様式」のとおり作成してください。余白について、上下左右で各２５mmあけてください。原稿には、ページ番号、ヘッダー/フッターなどの挿入は、決して行わないでください。

（6）要旨集掲載原稿に記述する事項

本冊子の「実践報告様式」のとおり、〔テーマ、発表者全員の氏名・所属・会員区分（筆頭発表者には○を付ける。非会員はかっこ（）書きする）、キーワード ３つ〕を「上部の枠内」に明記してください。

本文の項目は、〔災害の概要と報告目的、実践の必要性、倫理的配慮、展開、所見・教訓等〕の5つにしてください。

事例等の記述にあたっては、プライバシーの保護、関係者の承諾等配慮する。なお、原則として人名、地名、職場名、学校名等の固有名詞は使用せず、A県、B市、Cさん、D施設などと表記し、実際のイニシャルは使用しないこととします。なお、研究倫理については、研究発表に準じて作成してください。

実践報告様式

（余白25ｍｍ）

主題：12pt ゴシック・中央揃

ー副題：10.5pt ゴシック・中央揃ー

〇氏名10.5pt明朝（所属・〇〇大学）

〇久保田太郎（□□大学）、秋田小町（〇〇大学・非会員）

キーワード（3つ）：9pt明朝・中央揃

1, 災害の概要と報告目的（見出し10.5ptMSゴシック、本文10.5ptMS明朝）

●●●●●●●●●●●●・・・・・・・・・・・・・・

2, 実践の必要性（見出し10.5ptMSゴシック、本文10.5ptMS明朝）

●●●●●●●●●●●●・・・・・・・・・・・・・・

3, 倫理的配慮（見出し10.5ptMSゴシック、本文10.5ptMS明朝）

●●●●●●●●●●●●・・・・・・・・・・・・・・

4, 展開（見出し10.5ptMSゴシック、本文10.5ptMS明朝）

●●●●●●●●●●●●・・・・・・・・・・・・・・

5, 結果・所見・教訓等（見出し10.5ptMSゴシック、本文10.5ptMS明朝）

●●●●●●●●●●●●・・・・・・・・・・・・・・

謝辞（MSゴシック10.5pt:必要に応じて記載する）

引用・参考文献等：MSゴシック10.5pt:必要に応じて記載する）

※写真や関係資料等は、当日配付資料として準備することとし、エントリーシートには、用いないようにしてください。なお、倫理的配慮を遵守願います。

余白 25mm

６．障がいのある方への情報保障・その他の合理的配慮の申込みについて

本大会への参加にあたり、情報保障として配布資料の電子データを希望される場合や大会への参加にあたり介助者・通訳者等を同伴されます場合には、駐車場等の確保等の準備と確認のため、お手間をおかけしますが日本災害福祉研究会第一回研究大会事務局へ事前にご連絡をお願いしております（※都合によりご要望に添えない場合があることを申し添えます）。

７．各種の問い合わせ先

＜第1回大会に関する問い合わせ＞

E-mail：seminar0301@gmail.com

日本災害福祉研究会第1回研究大会実行委員会　（担当：塚田）